

●新入会員の紹介 推薦者 佐々木椎名 会員



くぼ こういち
久保 幸一
Kouichi Kubo
S 8. 9. 5

下 水 道

62. 2
親睦委員

函館設備工業(株) 代表取締役
神山3-6-6 T 53-2088

041
神山3-6-5 T 55-6982

ご家族 ノブ子 夫人 結婚記念 3月14日
俊彦 次男 趣味 ゴルフ

◎出席報告

会 員 数	65名	出 席 率	函 館 北 2月 4日	98.28%
出 席	41名		函 館 東 1月30日	92.20%
欠 席	24名		函 館 1月29日	92.91%
他クラブ出席	16名		函館五稜郭 1月30日	100.00%
出席合計	57名		函館亀田 2月 2日	82.56%
除 外 者	7名			

次回・3月4日
プログラム

「四つのテスト」について

遠藤尚義会員・市川芳夫会員

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 例会場：函館 国際ホテル
事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870

第251地区 第11分区



1986~1987

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

マット・カパラス 国際ロータリー会長テーマ

Rotary brings hope

ロータリーは希望をもたらす



椎谷 龍彦 会員

冬の大野平野

《第1141回例会》 第35回 3月4日(水)

本日のプログラム

4つのテストについて

卓 話

遠藤 尚義 会員

市川 芳夫 会員

★会 長 沢田 鶴造

★幹 事 石橋 輝男

1986～1987

〈第1140回例会〉第34回

2月23日の記録

◎司 会 函館R.C.深瀬 寛 会長 ◎斉 唱 奉仕の理想、手に手つないで

◎ゲ ス ト NHK放送総局 経営主幹 樋口 英樹 氏

米山奨学生 謝 寛永 君

◎会長報告（5クラブを代表して） 函館R.C.深瀬 寛 会長

北国の函館も三寒四温をくり返しながら、着実に春に近づいております。

本日、久方ぶりの函館市内5クラブの合同例会を開催することになりました。

悪路のなか多くの会員にご参集いただきました。誠にご苦労さまです。

ホストいたしました函館クラブの会長として、一言ごあいさつ申し上げます。

本日、2月23日は国際ロータリーの創立記念日であります。この記念すべき

日に、NHK放送総局・経営主幹の樋口先生をお招きしてご講演いただくことになりました。国際的に活躍しておられる樋口先生には、シリアより私どもの

ために函館にかけつけて下さったとうけたまわっております。誠に有難いこと

であります。ロータリーは希望をもたらすという本年度のテーマにそって、各クラブは奉仕活動を実践してきておりますが、本日の樋口先生の「イベントと地域の活性化」と題するお話しをおききいたして、また明日からの一步を踏みだしたいと考えるのであります。

有意義な合同例会であるよう念じるものです。

◎幹事報告（5クラブを代表して） 函館R.C.渡辺 靖夫 幹事

○幹事報告は特にありません。

○この場を借りて、函館ロータリークラブを退会されることになりました、青函船舶鉄道管理局長の永井 和夫 会員より挨拶を受けたいと思います。

（永井 和夫 会員 退会の挨拶 — 略 —）

◎国際ロータリークラブ創立82周年記念について

第251地区 第11分区 下郡山 信一 分区代理

本日は、国際ロータリークラブの創立82周年記念日にあたり、函館市内の5ロータリークラブの会員の皆さんが、このように一堂に会して、有意義な講演を聞ける機会をつくっていただき、たいへん感謝しております。

これまでも、この記念日が来る度に、各クラブで国際ロータリークラブの創立について何度も話をされております。したがって、国際ロータリークラブの創立については御存知の方も多いことと思いますので、ここではごく簡単に、創立前後の様子について話をさせていただきます。

御存知のように、国際ロータリークラブは1905年（明治38年）に誕生いたしました。当時弱冠37歳の青年弁護士ポール・ハリスが、心を一にする仲間4人と、アメリカのシカゴで初めての会合を持ったのが国際ロータリークラブの出発点であるといわれております。

ところで、その当時のアメリカですが、「ポール・ハリスの伝記」によりますと、経済の不況とそれによってもたらされた麻薬とギャングがはびこって、世の中が大変乱れていたそうです。ギャングといえば、暗黒街の王として世界に名を轟かせたアル・カポネが、シカゴを舞台に活躍したのはちょうどこの頃で、ロータリークラブが活躍を始めた頃と時期を同じくしております。

このような歴史を振り返ってみると、ロータリークラブは、不況のような時にこそ活躍を強めるべきではないかと思えます。今の函館の経済状態は、当時のアメリカの不況と比べて、まだまだ不況といえるところにまでは至っていない

いのかかもしれません。しかし、厳しい状況にあることは確かで、今こそ、ロータリークラブの会員の皆さんが力を合せて、地域の活性化に努めるべき時ではないでしょうか。

話は、ロータリーのカレンダーの方に飛びますが、今年の7月頃の標語に、「ロータリーの活性化は、地域の活性化につながる」というのが載っております。この標語は、三浦ガバナーからヒントをいただいて、私が投稿して採用されたものですが、まさにその通りであると考えております。

本日、NHKの樋口先生から、「イベントと地域の活性化」という題でお話をさせていただくわけですが、本当に時宜を得たものではないかと思っております。

現在、国際ロータリークラブには、160の国（正確な国数ではなく地域も含む）と22,470のクラブ、102万人を越える会員が参加しておりますが、これらのクラブや会員がそれぞれの地域で、ロータリアンの最大の理念である「奉仕の精神」で活躍をされているわけです。

本日の講演が、我々ロータリアンの活性化と地域の活性化につながれば、本当に素晴らしいことと思っております。本日の企画をされた関係者の皆さんに感謝を申し上げ、御挨拶いたします。

●イベントと地域の活性化 NHK放送総局 経営主幹 樋口 英樹氏

私は、通産省が去年から始めた各界の人材を集めた「イベント研究会」の委員をしておりますが、イベントはどういうものかもう一度皆さんと考えてみたいと思います。

これから4～5年間は、行政と自治体レベルのイベントがミックスされて、かつてない程のイベントラッシュになるというのが実態です。こうした中で地域住民のニーズの変化が起きており、既成の価値感に対する変化が急激に各地であらわれてきております。

イベントは、地域住民の中からもりあがらなくてはならないという認識のもとに、一つの活力となって芽生えてきております。

さて「青函博」に話を移しますと、企業出店が博覧会の一つの鍵をにぎるのではないかと思います。地場を含め、中央の企業がどれだけ協力してくれるか、それをどうとりつけるかが肝心です。とくに来年からさ来年にかけては、全国各地で博覧会が目白押しなので「青函博」にとっては時期が悪いかもしれません。

イベントの成功例として、二つの例を挙げてみます。

九州大分のひなびた温泉まち湯布院で若ものたちが手づくりのまつりを始め、これがいまや国際映画祭のイベントに発展しております。もう一つ、富山の山村利賀村では、過疎を逆手にとって廃家を利用して始めた国際舞台芸術週間が、広く知られるビッグイベントに発展しております。

イベントは一過性のものでなく、継続性のあるものが本物です。成功した二つのイベントは、大変な苦勞の中から生みだされたことを忘れてはなりません。この二つに共通点としていえることは、地元としての体制作りと基本作りを曖昧にしなかったということです。

イベントの成功が地域全体を活性化させ、「俺たちだってやればできるのだ」と地元の住民が誇りに思っております。

大阪万博や神戸ポートピアのコピーは、決してイベントではありません。地域でやって本当によかったというのがイベントで、地域の意識の変化がイベントのもう一つの効用であります。

また、親から子に受け継がれていく伝統芸能をもう少し近代化・複合化して、新しいイベントを生み出すこともできます。

さらに、自分たちの地域の活性化は自分たちでやるんだという意識も大切です。自治体・産業・住民が一体となって、自分たちで手づくりの仕事をするのだという意識と連帯感をきちんと持った中で実施しなければ、イベントの効用はありま

せん。

イベントはそう簡単なものではなく、一定の目標に向って一定期間、自治体・産業・住民の三者が共同作業を行なう心構えが必要で、それが基盤作りができるかできないかを定めることとなります。

この機会に新しい産業・文化の芽ばえを生み出すことも大切で、やってやり放しはだめであります。例えば「青函博」から生まれた小さなみやげもの、記念品が全国でもはやされるようになるとしたものです。

最後にひとこといえば、もう一度「青函博」の足元を見直し、どこかに欠落した部分がないか、固めなくてはならないものがないかなどを点検してもらいたいと思います。青函博まで1年半、ここにお集まりの函館を動かすような方々が、一定の期間・一定の目標に向って共同作業を続けてこそ、初めて青函博は成功するのだと思います。

私の話しが少しでもお役に立つことを願って、講演を終らせていただきます。

◎ 出席報告

会 員 数	65 名	出 席 率	函 館 北 2月18日	90.16 %
出 席 席	45 名		函 館 東 2月17日	90.91 %
欠 席 席	20 名		函 館 2月12日	94.07 %
他クラブ出席	10 名		函館五稜郭 2月13日	100.00 %
出席合計	55 名		函館亀田 2月16日	83.67 %
除 外 者	4 名			

次回・3月11日 プログラム	パキスタン・トルコを旅して 下郡山信一 会員
--------------------------	----------------------------------

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 例会場：函 館 国 際 ホ テ ル
 事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870

昭和62年3月4日

会 員 各 位

函館北ロータリークラブ
幹事 石橋 輝 男

今般、当クラブ会員より下記の方の入会の推せんがありましたので、理事会はこれを職
 業分類委員会ならびに会員選考委員会にはかりました結果、両委員会よりそれぞれ適格で
 あるとの報告をうけました。
 よって、理事会はその報告に基づき会員候補者として、これをクラブ内に事前発表する
 ことにいたしました。
 つきましては、同候補者の入会に対してご異議のある方は、来たる3月13日までに書面
 により幹事あてお知らせ下さるようお願いいたします。

氏 名	職業分類	役 職 名	推 薦 会 員
近 藤 章 二	国際観光 ホテル	(株)函館ハーパービュ ーホテル 代表取締役専務	飯 田 貢 一